

外務省（大使館員・JICA 職員）は恥を知れ！ 真面目に働け！

我々は政府の助成も無く、夫々の自費で安全な水の普及と、中国が鉱山を掘りつくし、不気味で有害な緑色の池の浄化に、日本の青年を中心に、各国の若者達、現地人、総勢で 300 名余りが従事している。1 年間の旅費・滞在費がおおよそ 50 万円だ。

アルバイトで金を溜め、一年留年してのボランティアが多い。

一部の国々では「もう中国は来るな」との、現地人の反中国の機運が盛んで、完全に中国人を追い出した。中国の一带一路の野望を粉碎したのだ。

我が外務省が、この様に現地に密着した事業を実施して、成果を公表できる案件が「一件でもあるのか？」「ゼロではないのか？」ユニセフへの援助の大半は「人件費に消えているではないか」善良な庶民から「国際貢献の名のもとに」毎年資金を集めているが、外務省は国連改革について一言も発しない。一体何をしている。岡井さん！ 外務省から国連高官に出向して、それで満足ですか？ 大野泉先生！ 毎年成果を出せない案件で、国民に遣わせた無駄金を計算した事が有りますか。本当に責任を感じて欲しいです。恥を知ってほしい。一部の大使は POLY-GLU チームのメンバーが面会を求めて大使館に行っても、会ってもくれない。それどころか、現地の有力者と組んで、POLY-GLU グループの進出を妨害している大使が 2 名アフリカにいる。近々、氏名・顔・写真を公表する。

JICA も大使館も要員、調査員など、仕事が出来ない職員が多すぎるのだ。

JETRO は一か国 1 名で、責務を果たしている。

外務省！ 要員を 10 分 1 に減らしてみたらどうだろうか？

この項の責任は小田兼利が執ります。

国連の存在感は無い

国連の存在感、発言は無と化している。グテーレス氏など、ピエロではないか？

我が外務省幹部は、11 か 12 の国連幹部ポストを欲しがり、国連改革には関心がないようだ。WHO も中国に好きなように利用され、ユニセフは出来もしない国際貢献を並べ立て、慈悲に厚い日本の庶民から寄付を集めて職員の給与に充てている。

外務省は国連改革に取り組むチャンスだが、真剣に取り組む姿勢の国会議員は見当たらない。こうした政治家の姿勢が、ウクライナ問題、ミャンマー、アフリカ、中南米、ウイグル自治区などの、人権蹂躪、騒乱さえ押さえる事が出来ない、不甲斐ない国連にしたのだ。日本政治の優柔不断な態度、存在自体が、国連を弱体化したのだ。世界の様々な不幸の原因を日本が創っているとも言える。我々国民は「指をくわえて無能な政府に国連改革を任せていて良いのだろうか？」小さな組織からでも良い、政府に頼らず庶民レベルで、国連に代わる組織を創るべきではないだろうか？

安倍回顧録を読み、我々に出来る事は何か？ 学ぶことばかりだった。

先ず、チャイナスクールの面々を表舞台に出さないで貰いたい。

ODA や企業の海外進出に、未熟なコンサルを付けないで貰いたい。

すぐ手を打つべきは、国連の拒否権、即刻止めるべきで、それが出来ないなら日本は脱退すべきだ。敵国条項に入れられ、外務官僚、政治家達恥を知れ！

安倍さんなら、米国を誘い国連改革が出来たはずだ。

小田兼利